



栽培しているスティックブロッコリーにきれいな花が咲きました。「ブロッコリー隊長」「魔法のお花」とのことです。

大津市立石山幼稚園

にこにこ通信

令和7年 3月号
大津市立石山幼稚園 園長

石山幼稚園・教育目標

- ・健康で明るい子ども
- ・自分も相手も大切に子ども
- ・自ら考えやりぬく子ども
- ・互いに認め合い心通わせる子ども

大津市基本理念

新しい価値と可能性を追求する大津の教育 ～多様性を尊重し自立する人～

みんな大きくなりました。ご修了おめでとうございます！

3月14日には無事修了証書授与式を終えることができました。5歳児は3月に入りこれまでの日々を振り返り自分達の成長を実感すると共にお世話になった方々への感謝の気持ちを膨らませていました。入園してからの毎日、存分に遊んだことや友達と楽しかったことがたくさんありました。時にはうまくいかず困ったり友達とぶつかったりしたこともあったと思いますが、それも全て自分たちの心の中で積み重なり、これから歩む日々のエネルギーとなっていることと思います。本当に大きく育てられて嬉しい気持ちでいっぱいです。石山幼稚園の先輩、元気な一年生になってください!!

修了までの日々、幼稚園にはペア活動により異年齢の子ども同士の関わり合いが自然に生まれるようになり益々温かい空気が流れ、未来へ向かう期待の気持ちと共に残っている少しの時間が名残惜しく感じられました。3,4歳児の子どもたちにとって憧れの大きい組に今までの気持ちを伝える『お別れ会』を計画し、ペア同士でプレゼントを渡したり、心を込めて歌ったりしました。大好きな大きい組と一緒にきらきらした表情で遊ぶ姿から、一つ大きな学年になる心の準備を着々としている様子が伝わってきました。さくら組さん、りす組さん、ご修了おめでとうございます。次は一つ大きい組、嬉しいです。

子どもたちと共に一年間を振り返っているとたくさんの『ありがとう』の気持ちが湧いてきました。お家の方にはお弁当を作ってもらったことや日々の送迎や体調管理、気持ちを支えてもらったこと、また、きらきらボランティアやPTA活動等、数えきれないくらいあります。これまで温かく見守っていただき、ありがとうございました。

そして、地域の方々、各種団体の皆様には機会のある度に幼稚園に快く出向いていただき、見守り関わっていただいたりお力を貸していただきながら、地域で育つ「石山の子」をととても大切にさせていただきました。感謝の気持ちでいっぱいです。一年間お世話になりました。本当にありがとうございました。これからもどうぞこれまでと変わらぬ関わりやご指導をいただきますよう、心よりお願い申し上げます。



ペアのお友達同士、プレゼント交換をしました。



石山中学校卒業式の練習を見学させていただきました。お兄さんお姉さん達の美しい歌声に感動!大きくなることへの期待が膨らみます。



お手紙を読んであげる姿がありました。

3月生まれのお誕生会「マリーファンタシア」さんによるコンサート。ドレスのお姫様にありがとうのカレンダーをプレゼントしました。



民生委員さんたち、りす組・さくら組にお祝いしてもらった『プレ修了式』、大きくなった嬉しい気持ちでいっぱいです。



お世話になった方々へ『ありがとう』の気持ちを込めてカレンダーを作り、お届けしました。



令和7年度 未就園児活動

ニコちゃん広場 2歳児 登録制

(令和4年4月2日～令和5年4月1日生まれ)

第1回活動日及び登録会 令和7年 4月15日(火) 10:00～11:30

ピヨちゃん広場 0～1歳児

(令和5年4月2日以降生まれ)

第1回活動日及び説明会 令和7年 4月18日(金) 10:00～11:30

石山幼稚園 HP

子育て支援事業のお知らせ等、
随時掲載しております。



石山学区に根ざした地域の幼稚園です。遊びに来てくださいね!

大津市立石山幼稚園 大津市石山寺3丁目17番8号

☎077-537-2424

裏面に石山幼稚園学校評価表を掲載しております。

本園の評価から学校評価委員の皆様へ評価いただきましたので、お目通しいただければ幸いです。

学校教育評価表（幼稚園）

大津市立 石山 幼稚園

評価の基準（3:よくできた 2:できた 1:あまりできなかった 0:まったくできなかった）

評価の観点	自己評価 (3・2・1・0)	現況	学校関係者評価 (3・2・1・0)	学校関係者評価 (ご意見・ご提案)	今後の意見(職員評価より)		
主体的・対話的で深い学び	1	友達と互いに思いを寄せ合える集団づくりの実践	3	・子どもたち一人一人の思いを丁寧に受け止め、温かく思いやりのある集団づくりを目指した。 ・異年齢交流や自己充実につながる保育の実現に向けて取り組んだ。 ・思いを伝え合い、相手の気持ちも知ることができるよう仲介したり言葉を添えたりしてきた。 ・視覚表示の活用で、子どもたちが虫や草花に興味を上げたり、関心をもち見つけたりする姿につながった。 ・研究保育や滋賀大学・大学院さんとの研修会等で学びの場がある。	3	・子どもが自らの思いや感じたことを子どものペースに合わせて反応されている保育者の姿があり、言葉を使おうとする意欲を引き出している。 ・秋の作品展を見ると子どもたちが何を見て何を感じているのかが作品の表現に生かされていると思う。 ・自然や文化に触れたくさんの体験が積めて良いことと思う。	・教職員間で子どもたちの姿を振り返ることで、支援や関わりを深めていきたい。 ・興味関心の湧くような言葉掛けや題材を選び、子ども達が就学に向けて力を身に付けられるよう実行していきたい。 ・集団や友達との対応をサポートすることを通して周りの様子や友達の様子に気付けるよう伝え関わってきたい。
	2	協同する体験・伝え合う喜び・言葉で表現する意欲を生み出す保育の工夫改善(ICTを活用した幼児教育)	3				
	3	主体的・対話的で深い学びを追究する保育研究や研修会の実施	3				
道徳教育の充実	4	生命を尊重する心や人を思いやる気持ちなどを育てる保育実践	3	・生き物や花、野菜の世話を通して大切に育む気持ち、命の大事さを実感できるように実践した。 ・目に見えるトイレのスリッパ並べなど、次の人が気持ちよくするための指導をした。 ・異年齢の関わり、ペア活動で思いやりの気持ちを育てることができた。	3	・石山学区の6つの約束を大切に指導されているので、どこで出会っても気持ちの良い挨拶が返ってきます。その度いつも清々しい気持ちになります。 ・植物や生き物を育てておられ、大きくなっていく過程も学べてよい。 ・小さな生き物を大事そうに教えてくれた姿に子どもたちの優しさを感じました。 ・訪問させていただいた時に散らかっていることなど整理整頓がしっかりされていると感じています。	・石山地区では、地域の方の関わりが密接であり、たくさんの大人に見守ってもらえて、安心感がある。今までも、そのことについて子どもたちに伝えてきたが、今後は、よりそのことについて考えたり感謝できるような伝え方を考えていきたい。 ・人や生き物を思いやる気持ちを大切にできた。 ・ペア活動を一学期から始めたことはよかったと思うので、来年度も早めの実施が望ましい。 ・友達や先生の気持ちに気付けられるよう、また生き物や植物にも目を向け興味をもったりし、思いやる気持ちにつなげていきたい。
	5	様々な人との体験を通して、道徳性や規範意識の芽生えを育む指導	2	・地域の方や保小中の子ども達や先生方などいろいろな方と関わる中で、挨拶をしたり、その人の思いに触れながら関わったりする経験ができた。 ・懇談や園だより、クラス便り、地域通信などで育ちについて発信できていたと感じる。	3		
	6	道徳性の育ちに向けての保護者への啓発と連携	2				
体力づくり	7	魅力ある運動的な遊びの工夫改善	3	・「やってみよう」「やってみよう」と思えるような遊びの設置や環境を考え子どもたちの姿から再構成した。 ・教師も一緒にやってみることで、繰り返し行うことや異年齢からの刺激も得られるようにし、体を動かす楽しさを味わえる様に努めた。 ・マラソンや手洗い、うがい等の習慣化から体づくりに取り組んだ。 ・危険な場所や道具の確認や使い方を正しく知らせた。	3	・小学校に遊びに来るといつも楽しく走り回っている様子を嬉しく見えています。その姿を見るたびに日頃から運動的な遊びに取り組まれていることがわかります。 ・体力づくりに向けて近隣散歩は大切。	・生活習慣については体力向上に欠かせない重要な要素であることから、啓発、連携、協力は不可欠。 ・体を動かす楽しさを教師自身も一緒に取り組み、面白さに気付いたり、難しさを一緒に味わったりできた喜びを感じていきたい。 ・体力づくりに向けて環境の工夫を試みたい。
	8	体を動かす喜びや心地よさを通し、進んで体を動かそうとする意欲の育成	2				
	9	健康や安全に必要な習慣や態度の育成	2				
(組織的・計画的)指導改善	10	幼児理解や教材研究に基づく保育の基本を踏まえた指導改善	2	・わからないことは、自分から具体的に質問することで、次の保育へとつながるよう心掛けた。 ・園内研修や研究保育など園全体で園児の姿を学び合う機会が多かった。	3	・どの先生とお話しても子どものことをよく知っておられて連携されていることがよくわかります。 ・園の先生方のチームワークの良さを感じられます。情報交換や相談ができる雰囲気はきっと子どもや保護者の安心感につながっていると思います。	・子ども一人一人を大切にしようという柱を常に意識し、保育カンファレンスや個々の学びから保育力向上を目指していきたい。 ・振り返りの機会を大切に、様々な事項を想定しながら、計画を立てられる様にPDCAサイクルを身に付けていきたい。 ・全体での見直しをもち、個々の仕事や作業を明確化し、余裕をもって取り組めるようにしたい。
	11	教職員の指導力、情報活用能力、及び組織的な教育力の向上	3	・長期的短期的な見通しと、スモールステップで今日することをリスト化し、行動に移すようにした。			
	12	働き方改革の取組と教育活動の質の改善	3				
家庭・地域との連携・協働	13	子育てや家庭教育に対する保護者への積極的な支援	3	・保護者の方との子どもの姿を共有できるよう、降園時などに話しかけるようにした。 ・写真掲示を通して、保育の啓発に努めた。また、保育参加でも子どもの育ちや教育理解につながったと思う。 ・保護者の方が参加する行事や地域の方との交流の行事から得ることがたくさんあった。	3	・地域の者として多くの時間を子どもたちと共有させていただき、成長を見守ることにつながっていると感じる。 ・保護者が参加するイベントなどを通じて園の教育活動に関わったり理解されたりする機会を提供されている。また、園からの通信で活動方針や活動内容がよく理解できます。 ・災害時の対応について保護者や地域の方との連絡方法など工夫しておられるのでしょうか。	・安心安全な幼稚園を意識しながら日々働いているが、今後もそのことをベースに様々なことを考えられる力を身に付けていきたい。 ・子どもが自分の身を守る術を身に付けられる様に、日頃の習慣が進んで身に付けられる様に支えていきたい。 ・保護者の方の様々な思いに対応できるよう、職員同士でも共有して話したり、相談できるようにしたい。
	14	保護者・地域との交流や情報発信、保育参加・参観、懇談会、研修会の実施	2	・安心・安全の視点からも物の整理整頓は行っているが、教材室や砂場倉庫など皆で常に気を付けていく必要のあることは更に意識したい。 ・毎月の避難訓練や安全点検など機会があることで日頃から安全を意識できた。	3		
	15	防災教育の推進、感染症対策の推進を含む、地域の実態に応じた安心・安全な学校づくり	2				
保幼小中の連携	16	子どもの校種間交流や教員の出前授業	3	・子どもの交流は保育園、小中学校を通してこれまでから継続して取り組んでいるものが特色となっている。 ・出前授業、学校の先生による訪問、中学校区の会議、日頃の連携等様々な機会により子どもの育ちや課題を共有でき、「石山の子」をみんなで支える体制につながっている。 ・一年生の様子を度々見学させてもらえることでどのような力が生かされ安心と自信につながっているのかを実態から捉えることができている。	3	・石山の子をみんなで育てる意識をもって子どもや保護者と関わっておられることがわかります。 ・学区の特色として保幼小中の連携がとりやすいと思われ、また、交流もうまく回れていると思う。 ・教務主任が集まり教育課程の編成についての交流も行い学びが途切れないように話し合われている。	・連携のおかげで、たくさんの学びがあり、幼稚園で大切にしたいことや、身に付けたいことが分かってきた。今後は、それをどのように実践に生かせるかを考えていきたい。 ・小学校の授業を参観させてもらったのは幼稚園での経験の大切さを実感する機会にもなり、学びとなった。今後も長いスパンでの子どもたちの成長を見直し、保育へとつなげられるよう、校種を超えて関心をもって学んでいきたい。
	17	校種間の授業公開や合同研修会	2				
	18	保幼小中の接続期の教育課程の編成等、円滑な接続を図る校種間のカリキュラム研究	3	・夏の研修会や研究授業の参観、保育を見に来てくださったりと、校種間で子どもの育ちを意識できる機会がありそこから理解が深まり園の保育の中で大切なことを改めて感じることができている。			
生徒指導体制の充実	19	事故やトラブルの未然防止、早期発見、早期対応を大切にされた指導	2	・月二回の安全点検を複数で行うことで、どう危険なのかイメージしやすかった。 ・子どもたちの小さな変化も教師間で伝え合い、気に掛けておくことなどを共通理解し、対策について話し合ってきた。	3	・教師間での連携がうまく機能をするよう組織内の情報共有、共通理解を大切にされている。 ・先生同士の協力、連携がとてもよいと感じます。	・困ったことや、どうかな？と思うこと、心配なことを安心して伝えられるような関係性をこれからも築いていきたい。 ・困りごとへの手立てを適切なものにできる様に、子どもの興味や関心に付き、ひも解いていける様にした。また、偏った考えに留まらない様にし、情報の共有、意見の交換を日々充実させていきたい。
	20	子ども一人一人への理解を基盤とした組織的指導体制	3				
	21	家庭・地域・関係機関との連携による指導	3	・顔色や様子の変化を捉え言葉を掛けたり、職員同士連携しながら関わる様に努めた。 ・報告・連絡をその日のうちに職員で共有し未然防止と初期対応を丁寧にしていきたい。			
特別支援教育の充実	22	個別指導計画の作成と活用	2	・個別の指導計画を踏まえて、日々の保育を行っている。 ・個別指導計画作成時、担任としっかり話し合い、見直しと支援の仕方を共有した。	3	・特支会を月一回開催され、園内でチーム支援体制が確立されている。子ども一人一人に応じた支援を丁寧に行っている。 ・一人一人を大切に」の通り丁寧に保育されていると思う。	・指導計画は、日々の保育の振り返りとして活用し、定期的に評価していきたい。 ・特別支援担当者会の意見交換を密にして、常に向上心をもってよりよい関わりを心掛けていきたい。
	23	組織的・計画的な特別支援教育体制の確立	3	・月一回の学び合いの機会では一人一人の幼児理解を深め、共通理解し教材研究もできた。記録を紙面で共有したのはとても分かりやすかった。 ・「一人一人を大切に」を大切に、記録ノート作成や学び合いの機会を活用してきた。			
	24	家庭・関係機関と連携した相談体制の充実	3				
25	幼児の幼稚園満足度	2.7		3			
保護者アンケートのすべての評価の平均値		2.77	3点未満、小数第2位まで記入				